

詰連珠ドリル

【入門編②】

サンプル

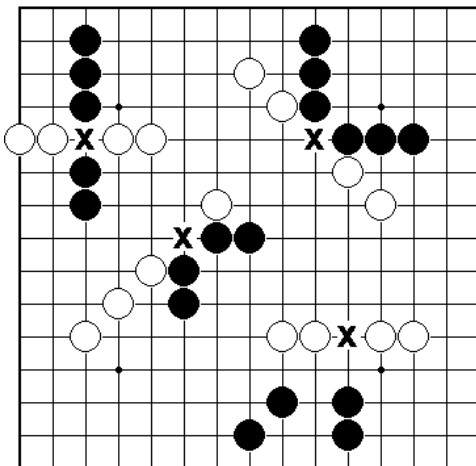
出題：河村典彦九段

2023年10月1日発行

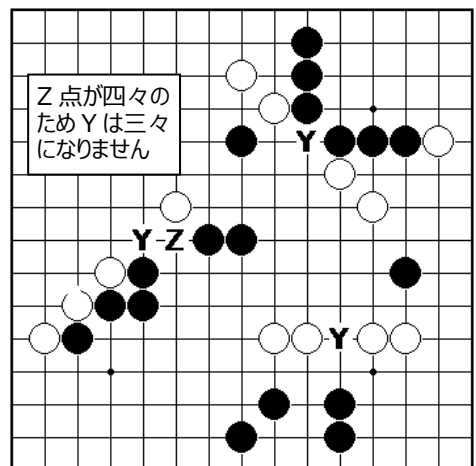
【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります
白は黒に禁手を打たせても勝ちです

【禁手の例】



【禁手にならない例】

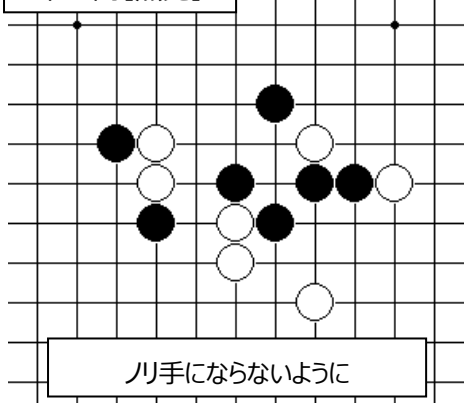


詰連珠ドリル、入門編②を①に続き作成しました。①と同じように基本的には1手で四三を作ったり、禁手を打たせたりする問題にしていますが、難易度はぐっと上がっています。解けた！と思っても、落とし穴がないか確認してください。

今回も、黒先問題を70問、白先問題を30問合計100問をご用意しました。各問題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますので、初心者の方もこれを読んで基本の勝ち方をマスターしてください。実戦では、四や三を見落とさない、勝ちがある時にしっかり勝つ、ということだけを注意すれば、一桁の級にはすぐ到達します。勝ちがある時にしっかり勝つために、このドリルを活用していただければと思っています。

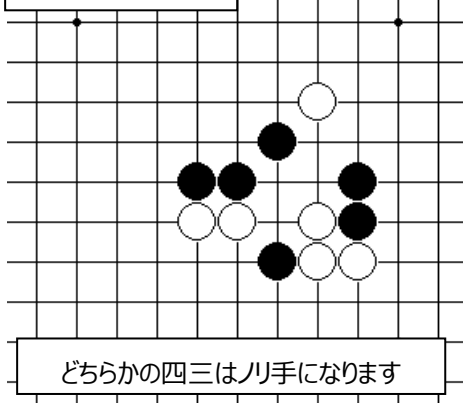
では、詰連珠の世界、楽しんでください！

第1問【黒先】



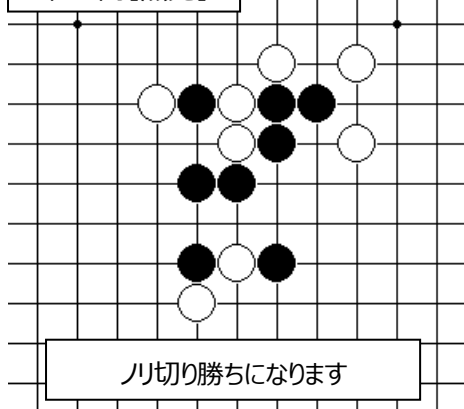
ノリ手にならないように

第2問【黒先】



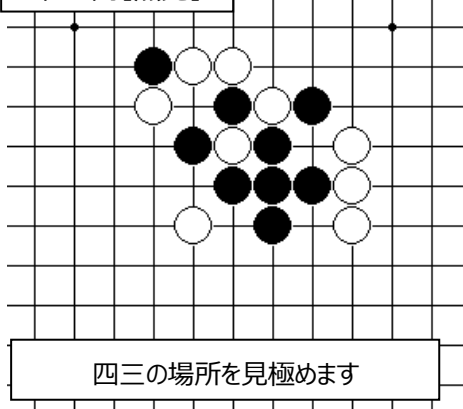
どちらかの四三はノリ手になります

第3問【黒先】



ノリ切り勝ちになります

第4問【黒先】



四三の場所を見極めます

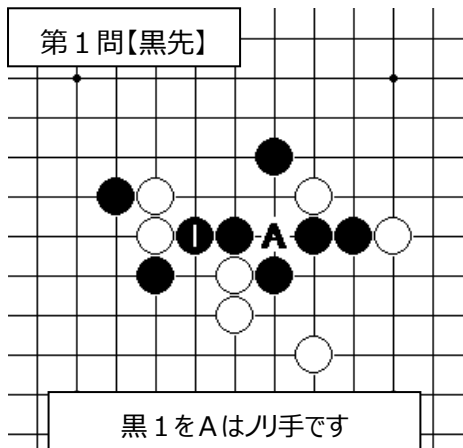
詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

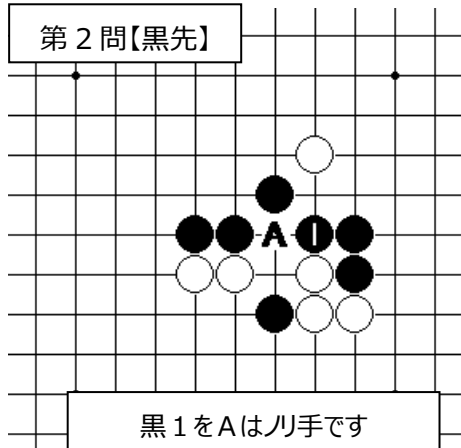
この入門編は1手で勝てる問題ばかりなので見た瞬間わかる場合も多いですが、即断してしまうとノリ手を見落としやすいです。斜めのノリ手などは非常に見えにくくなっていますので、要注意です。間違えた問題を再度やってみるのも上達のコツです。

● 解答

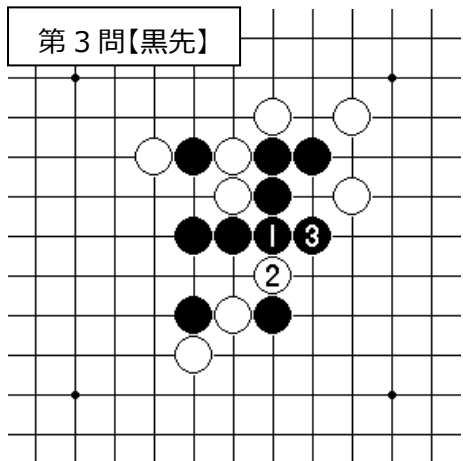
第1問【黒先】



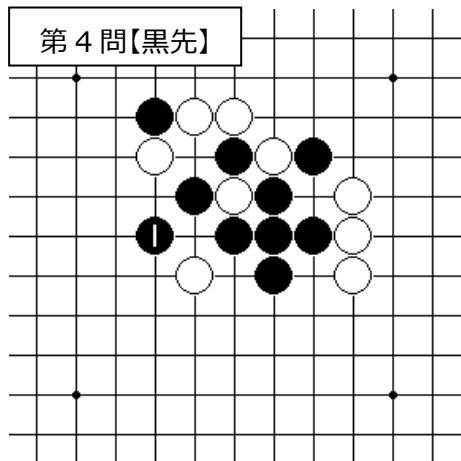
第2問【黒先】



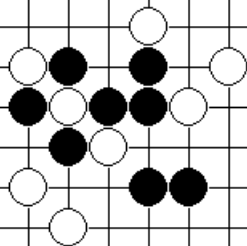
第3問【黒先】



第4問【黒先】

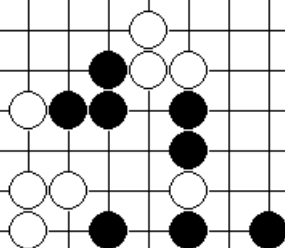


第5問【黒先】



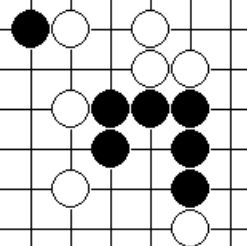
黒は四々が打てません

第6問【黒先】



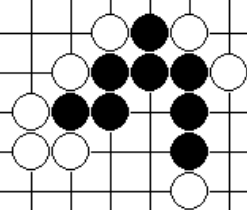
ノリ切り勝ちを目指します

第7問【黒先】



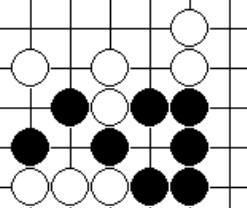
ノリ切り勝ちを目指します

第8問【黒先】

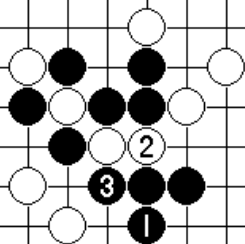


黒は四三々も打てません

第9問【黒先】

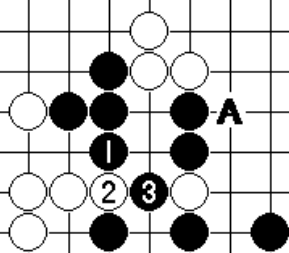


第 5 問【黒先】



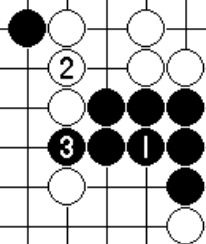
黒 1 で 2 は四々で打てません

第 6 問【黒先】

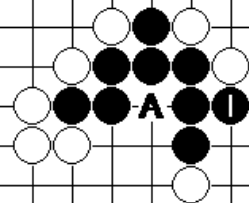


黒 1 を A はノ手です

第 7 問【黒先】

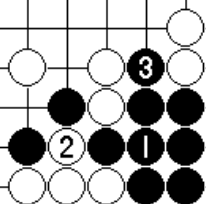


第 8 問【黒先】

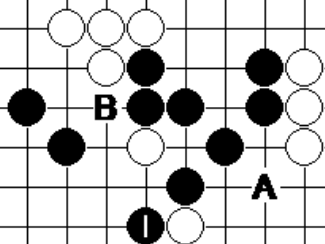


黒 1 を A は四三々です

第 9 問【黒先】



第 10 問【黒先】



黒 1 を A はノ手、B は四々です